

## 精神保健の課題と支援

問題 11 我が国の平均睡眠時間に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 フランス、アメリカのそれに比べて長い。
- 2 1980年代から一貫して増加傾向にある。
- 3 男性よりも女性の方が長い。
- 4 40歳代で最も短い。
- 5 平日と日曜日とでは差がある。

問題 12 精神疾患や精神障害の正しい理解の普及や啓発に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 メンタルヘルスリテラシーとは、精神障害に関する差別や偏見のことである。
- 2 ビヨンドブルー(beyondblue)とは、オーストラリアの発達障害啓発キャンペーンである。
- 3 タイムトゥーチェンジ(Time to Change)とは、アメリカの精神障害アンチステイグマキャンペーンである。
- 4 統合失調症とは、日本で神経衰弱を呼称変更したものである。
- 5 「こころのバリアフリー宣言」とは、厚生労働省の示した、精神疾患を正しく理解し、新しい一步を踏み出すための指針である。

問題 13 「厚生労働省の調査」における家族など養護者による高齢者虐待の現状に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 高齢者虐待事例が最も多い世帯は、未婚の子との同一世帯である。
- 2 相談・通報者の内訳をみると、近隣住民・知人が最も多い。
- 3 虐待の種別・類型として最も多いのは、介護等放棄である。
- 4 虐待を行った者として最も多い続柄は、息子の配偶者である。
- 5 「高齢者虐待防止法」の施行以来、相談・通報件数は毎年減少している。

(注) 1 「厚生労働省の調査」とは、「平成 22 年度高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」のことである。

2 「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

問題 14 「精神障害の労災認定基準」に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 対象となる疾病には、 I C D - 10(国際疾病分類第 10 版) 第 5 章に分類するすべてが含まれる。
- 2 発病前 1 か月間の、業務による強い心理的負荷に基づいて、業務上の疾病に該当するかどうかを判断する。
- 3 認定要件における基本的な考え方は「ストレス - 脆弱性理論」に基づいている。ぜいじやくせいりろん
- 4 セクシュアルハラスメントの被害を受けてからすぐに相談行動をとらない場合は、心理的負荷が弱いとみなされる。
- 5 自殺による死亡は労災の対象から除外される。

(注) 「精神障害の労災認定基準」とは、厚生労働省が平成 23 年に策定した「心理的負荷による精神障害の認定基準」のことである。

問題 15 1998(平成10)年以降の我が国の自殺及び自殺対策に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 年齢階級別の自殺死亡率は、50歳代以上では増加傾向にある。
- 2 全体的予防介入、選択的予防介入、個別的予防介入という対象ごとの対策を効果的に組み合わせることが推奨されている。
- 3 都道府県・政令指定都市のうち、自殺対策に取り組んでいるのは半数程度にとどまっている。
- 4 自殺総合対策大綱による自殺対策の数値目標は、自殺死亡者の実数が3万人よりも少なくなることを記載している。
- 5 自殺対策基本法に示された自殺対策の基本理念は、介入や事後対応ではなく事前予防である。

問題 16 精神保健福祉に関連した調査や統計とその内容に関する次の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 国民生活基礎調査 ——— 精神疾患により医療を受けている患者数
- 2 人口動態統計 ——— 原因・動機別の自殺者数
- 3 患者調査 ——— 精神病床を退院した患者の平均在院日数
- 4 医療施設調査 ——— 悩みやストレスを感じている人の割合
- 5 全国家庭動向調査 ——— 精神疾患による通院患者数

問題 17 精神保健に関する民間の活動に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 いのちの電話は、ひきこもり対策のために始められた。
- 2 チャイルドラインは、子育て支援のために始められた。
- 3 波の会は、躁うつ病の患者の自助活動である。<sup>そう</sup>
- 4 ナルコティクスアノニマス(N A)は、睡眠障害の患者の自助活動である。
- 5 日本生産性本部は、労働者のメンタルヘルスの推進運動を行っている。

問題 18 法と関連する事項に関する次の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地域保健法 ————— 精神病床の基準病床数
- 2 生活保護法 ————— 自立支援プログラム
- 3 学校保健安全法 ————— 要保護児童対策地域協議会
- 4 健康増進法 ————— 災害時における医療
- 5 がん対策基本法 ————— 地域保健対策の推進に関する基本的な指針

問題 19 「W H O(世界保健機関)の報告」による認知症の国際動向に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 認知症は、通常の老化の一部と考える必要がある。
- 2 世界の認知症患者人口は、2010年時点で300万人と推計されている。
- 3 認知症対策は、先進諸国特有の課題である。
- 4 世界の認知症関連コストは、2010年時点で年604億米ドルである。
- 5 先進諸国における認知症関連コストでは、インフォーマルケアのコストが医療コストを大きく上回っている。

(注) 「W H O(世界保健機関)の報告」とは、「Dementia: A Public Health Priority (2012年)」のことである。

問題 20 1998(平成 10)年以降の我が国の精神保健統計に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 入院期間が 1 年以上 5 年未満の患者数は、ほぼ横ばいである。
- 2 措置入院患者数は急増している。
- 3 退院患者の半数以上は認知症である。
- 4 新たに入院した患者のうち、1 年後も入院しているのは 20 % 以上である。
- 5 精神科病院に入院している患者のうちの 65 歳以上の割合は、国民全体のそれと同じくらいである。